

素材研究
(海外)

ウイスビー(スウェーデン)



ジブリ映画にインスピレーションを与えた バルト海に浮かぶ中世の城郭都市

北欧のバルト海に浮かぶゴットランド島にあるウイスビーは、12〜14世紀のハンザ同盟に築かれた城壁が残る島最大の町。当時の面影を今に残す歴史的な街並みともども世界遺産に登録されているほか、日本旅行業協会(JATA)の「ヨーロッパの美しい村30選」にも選出されています。

中世や古代の遺跡も 歴史博物館は必見

ヨーロッパ大陸とスカンジナビア半島に挟まれたバルト海は古来より主要な航路でした。この海域を望む町々は、とくに中世には都市商業ネットワークであるハンザ同盟を構成し、それぞれに発展します。バルト海に位置する最大の島、ゴットランド島にあるウイスビーもそのひとつで、いまなお35キロにわたる往時の城壁が残ります。

城壁内は旧市街。実はこの町では廃墟となった教会が数々見られ、現役で稼働しているのはサンタマリア大聖堂のみです。ハンザ同盟の衰えとともに町も衰退してしまつた結果ですが、だからこそこの町は中世を閉じ込めたような町並みが残り、それが魅力となつて、現在ではスウェーデンでも有数の観光地となつています。

また町ではハンザ同盟以前からバイキングや島の名のもととなったゴート族など、多様な民族が往来し、北欧文化を象徴するルーン文字の石碑なども発見されています。ハンザ同盟や古代史関連の品々が並ぶ歴史博物館は、「ぜひ訪れていただきたい必見ポイント」とスウェーデン大使館広報部のヨハンソン弘美氏は語ります。

島内に連泊し郊外へも 春や秋も狙い目

ウイスビーはストックホルムとともにジブリ映画『魔女の宅急便』にインスピレーションを与えた町と言われています。さらにゴットランド島はスウェーデンを代表する映画監督、イングマル・ベルイマンゆかりの地。島の北部にはベルイマンセンターもあり、映画ファンにはおすすすめです。牧羊も盛んで、料理はシーフードのほか羊肉料理、チーズが名物。町を離れると田園風景が広がりますので、ファームでお土産向けの羊毛製品やベリーのジャムなどを買い求めながらのドライブも楽しめます。

北欧のピークシーズンは夏ですが、「花が咲き始める春や、黄葉の秋は観光客が少なく静かで狙い目」とヨハンソン氏。宿泊施設は、ウイスビーは夏にアルメダレン公園でスウェーデン各政党の党首演説会が行われることから、グループ利用可能なホテルも含め、大小取り混ぜ100軒以上を有しており、「1泊という強行も可能だが、できれば島内のシープファーム巡り、奇岩で知られる北部のフォール島やベルイマンセンターなども含め3、4泊滞在して、のんびりと過ごしていただきたい」と話しています。



唯一現役のサンタ・マリア大聖堂



遠目からも絵になる町



見事な城壁が残ります



ウイスビーの町中



チーズなども名物です



ベルイマンセンター



羊のいるのどかな風景